

札幌市の 凍結防止剤の成分って 知ってますか？

札幌市で使われている凍結防止剤や
滑り止め材について紹介します！

11月になり最低気温が0℃近くなってきました。そろそろ本格的に冬がやってきます。気温が0℃付近になると道路にあった水たまりや雪解け水が凍ってしまい、路面が滑って転んでしまうような状態になってしまいます。そんな時に、みなさんが安全に移動できるよう活用されているのが、凍結防止剤や滑り止め材です。



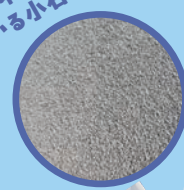
凍結防止剤は主に塩化ナトリウムと塩化カルシウム、そして、車が錆びないようにするための薬品が混ぜられて作られています。幹線道路に使用されることが多いです。塩化ナトリウムは、皆さんが料理などでも使う食塩の主成分です。食塩は温度の低い水でも比較的溶けやすく、冬の冷たい水にも溶けてくれます。食塩が水に溶けると食塩水ができますが、この食塩水は普通の水よりも凍りにくい性質をもちます。そのため、塩化ナトリウムはこれから路面が凍りそうなところに散布すると効果的です。塩化カルシウムは、水と反応することで発熱する性質をもちます。雪についた少しの水と反応して熱を出し、路面の氷を融かすことができます。そのため、すでに

凍ってしまっている路面に散布すると効果的です。この二つの成分が働くことで、路面の氷が融けやすく凍りにくい状態を作ることができるのが凍結防止剤です。

滑り止め材は主に石を砕いて細かくしたものです。石のとがったところが氷に突き刺さり、滑り止めの役割を果たしてくれます。滑り止め材は、急勾配の生活道路や山岳地域などに散布車を使って撒いています。また、滑り止め材が入っている砂箱と呼ばれるものが冬になると置かれるようになりますが、この中に入っている石は、市民が撒いてよいことになっています。もしも滑りやすいところを見つけた時には、砂箱から袋を取り出して撒いてみて下さい。

砂袋の中に
入っている小石

砂袋



【原稿執筆】金吉 征弥 教諭(札幌市立美しが丘小学校)



このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は
札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

校務・教育系システムのポータルサイトからも閲覧可能！

【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141

雪に関する写真や動画等、いろいろあります！

札幌雪学習

検索

雪学習
HPは
こちら→

